夕刊
磐城新聞
十一月四日發行
定價 一部金五錢 一ヶ月金六拾錢 郵稅拾五錢
發行所 磐城新聞合名會社
電話三六四番
（日曜祭日翌日休刊）

好間の炭鑛研究

發達史と現狀及將來

吉川生

はしがき（上）

佐々木淸治氏がその著『郷土地理敎育の原理』と方法の巻頭に『最近敎育界の地平線上に大きい星座が出現した、それは郷土敎育の勃興である』と書かれてゐる此の郷土敎育が敎育の仕事の中でどれ程大切な事であるかといふ事は、吾々實際家が日々の敎育生活の中で痛切に考へさせらる事柄であらうと思ふてゐる。新らしく入學した兒童が前の學校の事を懷しく思ひ、假令それが貧弱の上からは劣つてゐてもより以上に良い觀念の下に刻まれてゐて他の兒童に少しでも罵られると口論等をしてる場合を時々見受ける、郷土愛の精神は理屈では通らない心情の温い强い現はれであらうと思ふのである、兒童は母性愛に强く感じる樣に郷土愛の精神に不知不識の間に刻まれて行くのである

吾々は現在を離れて生活されないと同樣に過去を忘れても生活が出來ないのである、然るに過去を知らうとあるのでもなく、現在の生活に感謝するのでもなく生活してゐるから將來も考へ得ない誤つた生活に入る樣になるのだと[illegible]ふ、[illegible]した傳統研究こそ郷土敎育の使命ではあるまいか

最近は思想國難、經濟國難、外交國難を三大國難として非常時日本を强調してるが全くその通りである、然し之も世人がまだ〳〵早くから郷土の含味とか研究とかをして只温い心の郷土愛のみではまだ〳〵眞劍な意味での進歩的な態度の郷土愛でお互がよりよき改革を考へて實行して、その郷土の特色の發揮につとめてゐたなら斯うした國難も尚未然に拒ぎ得た事と思つてゐる最近の敎化村といふのも斯うした意味で　想善導、經濟培進、生活改善とかの意味で作られたものではあるまいか、現代の日本は物質日本ではない、精神日本である。隣り同志が土地の劣り合ひをする樣な姑息な心持では到底解決の附かない時代なのである。それは現代日本の生活がすでに、まだ〳〵大きな抱負と融和の心情による發展を考ふべき時で此の心で土地利用も考へ物質の交換も考へねばならないのである。之には飽くまでも之等郷土人に目的を與へ道を示す指導者の必要なことは云ふ迄もない。當村青年團でも行つてる樣だが—時局應順にした施設として青年生活改善の座談會がある。

新らしい疊

中里壽

眞靑な疊は
窓から流れてくる
初夏の明りで
よけいきれいだ
借家ずまひの
氣安さは
後の心配がないから
なだらかな小波の碧い海を
一層美しく
なごやかなものにさせる
親しい友の海濱の別邸で
のんきに
遊んでゐるやうな
そんな、氣持が
僕を樂しいねむりに
誘つて行つたので
初夏の陽を浴びながら
ウト〳〵と眞夏の海の
淡い夢を見ながら
たそがれ時まで
ねこんでしまつた。

愛讀者懸賞抽籤

十、十一、十二月三ヶ月分の本紙購讀料領收書と引替へに抽籤劵一枚を呈上。以上三ヶ月分の前納には新舊讀者を問はず抽籤劵即時呈上

一、抽籤　明春一月四日
一、發表　同六日本紙上

賞品

テーブルゲーム　一面宛

一等特大形（一名）
二等大形（二名）
三等中形（三名）

拈華微笑

燦然として甦生の希望に輝く星

◇

之際駄洒落れも不謹愼だが、名刹の燒くしは近來の最大痛恨事

◇

成程思案の外と云ふより外ない

理屈で解けぬ邪戀の淸算二つ

◇

因果は廻る小車の譬へ、自轉車十七臺を盜んで御用つ

◇

天地寥廓、秋いよいよ物悲し

社會の今日

11月5日

△對墺休戰條約成る（大正七）△白晝の上海に千餘名の海賊團襲來大掠奪をなす（昭和五）△新年の勅題曉鷄聲と仰せ出さる（同六）△ランカシア紡績罷業解決七日より就業に決定（同七）

○

小春日や岩根傳ひに夫婦猿　ミネ子

十日月やゝに傾ぶく大空を、しぐれもつ雲東へながるる　北見志保子

趣味の科學

陰陽の法則より見たる自然現象

磐崎村　大平秀之助

（5）

光線は急速度を以つて位置を變へつゝあるが即ち動的であるがそれに對し物質は靜的である、總べての物を小さく〳〵と分けて行くと形が無くなる、之物質がエネルギー化したもの、又はエネルギーより成つてゐるものたる事を想像するに難くない。形が無くて働きのみをあらわす所に於いて光や熱と不可分の性質を有するものと考へられる、我々は光の作用に基く動植物の生長や、日光に依つて色々な物質の分解せられ性質の變ずる事を確に認める事は一寸困難である。之等は形なきもの〻の作用である物質も亦形がなくなる。又考へ樣に依つては光線も靜止の狀態であると云ふ事が出來、靜止せる物質をエネルギーが進行すると必ず外形が波を爲す波動に依つてエネルギーが傳達せられる

靜なる媒質が波動をなし形となつて現れる處に又物質と類似して來る、光はエーテルの電磁波であるから、前の論より光の存在は之物質の存在と同一に考へられやう、。一秒三億米の速度を有する光と靜止せる物質、それから物質の運動とエーテルの電磁波、並に媒質の波動と靜止、物質の大小の認識等より光と物質との觀念は次第に綜合合躰してくる樣に考へられる

講談

幕末神風組

（44）　土生太郎作　高根秀浩畫

救援（九）

上總屋藤七には、第二段の用意陣立が整つてゐた

最初、うまく行つた、と思つた捕繩の網も、淺野の無茶苦茶な薙ぎに合つて、一たまりもなく斬りほぐされて了つた

『馬鹿な奴、身共は先を急ぐのだ、行く先きは築地の神風組の本部、ゆつくりついて來るがよい』

と、聞かされては、些かならずあわてぬ譯には行かぬ藤七は、淺野の沈着に引き換へて滅法あわてにあわてゝしまつた

そして、第二段の陣立あるをさへ忘れ、遮二無二淺野に追ひすがり、捕繩の網を篠つて雨の如く浴せかけるのだつた

『やつてはならぬ、構はねにからひつくゝれッ！』

藤七は只、夢中で叫んだ

星空だ

朱砂を撒いた樣な星空の下だ。少し馴れゝば、人の動きが手に取るやうに判る

『おゝ、潜んだぞ！』

『そら、伸びた！』

『右だ！』

『左へ拔けるぞ！』

『そらッ！飛んだゾ！』

藤七は、淺野の擧動を一々云ひ乍ら、乾兒の士氣を振はせた

それは効果があつた。藤七の掛聲につれて、白蛇のやうな捕繩が蜘蛛の糸にも增して、ねばり强くピュッ！ピュッ！と闇に弧を描き、淺野の頭と云はず首と云はず、手、胴、脚、へ肉迫して來るのだ

『おのれッ』

だが、それはかへつて淺野の奮闘心を掻き立てるやうなものだつた、彼は銀蛇の捕繩が、執念く飛んで來れば來るほど身輕く恰も飛燕のやうに又花にたわむる蝶の如く捕繩の下をかいくゞつた

幾度か足をとられ、危く地に轉び伏し、幾度か着物の裾を喰はれ、もろくもたゝらを踏んで後れをおらうとした、が結局時が經つにつれて淺野の氣力は益々其の弱力を增して來た

『それつ、もう一息だ』

藤七の掛聲に反して、捕繩の走りは段々ににぶつて行つた

『やれッ、淺野は大分疲れて來たやうだ、此の暇に追ひまくれ、逃がすなッ』

しかし、それにもかゝはらず捕繩の白條は暗空に數を減じて行く、淺野の揮ふ長刀に斬りほぐされたのだが、一つには投げ手の根が盡きて來た事も否まれない

『やれッ、首をこけッ！それから着物の裾だ』

焦ら立ち叫ぶ藤七

それに動かされたやうにピュッ！ピュ！うなりを立てゝ銀條が走つた

『あッ！』

淺野が叫んだ、左前にのめりながら……

『それッ！』

續いて驟雨のやうに激しく又しきり

『うむ、うむ』

淺野のうめきだ、身体がえびのやうに曲つてゐる

サッ！一齊に張られた捕繩よろ〳〵とよろめく淺野

『駄目だッ、力を一ヶ所にしろ左へ、川端へ引けッ』

あわて乍ら藤七乾兒に號令すると見る間に濤と張られた繩がサッ、と川端の方へ流れた、續いて淺野の身体は平均を失つて

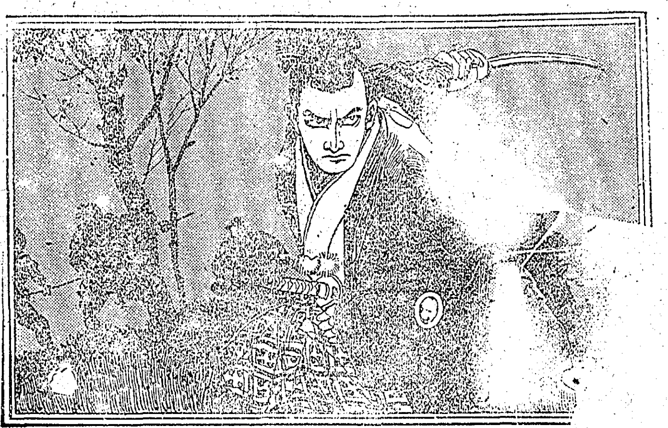
——た、た、たとのめつて行つたがまだ倒れない、僅に踏み應へてゐる

その時、藤七は第二段の備へのある事を思ひ出した

——さうだ、此の處を衝いて一擧に葬つて了へッ

『おい、棒組ッ』

藤七は土手下に向つて一聲高く呼んだ



新刊紹介

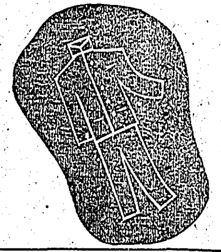
磐城公友（創刊號）月一回發行主幹吉田五平氏頒價郵稅共三十錢

廣告

最も新らしきショールは
中野洋品店
〜平二・電53

◎紳士型　ファー中折帽　五・五〇　特價

黑小倉通學服賣出



冬服の御用意をなさいましたか
弊店は御滿足の頂ける黑小倉服を澤山取揃へ特價にて御務めしております

小學生用（長ヅボン付）	
A	.90より
B	1,10より
特製品	2,50より
中學生用	
特製品	3,50より
御註文特上	6,50より

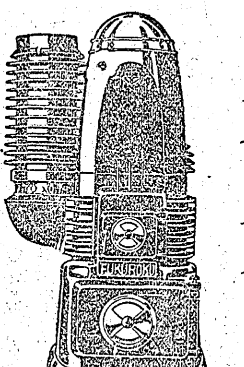
ふかや洋服店　平二　電203

季節料理

海老天どん	一金貳拾五錢
海老天ぷ羅そば	一金貳拾五錢
別製 松茸そば	一金貳拾五錢
滿洲そば	一金拾五錢

土瓶むし。海老天ちら
蛤なべ。かきなべ
本日より始めました。
何卒御試食を御願致します。
……（出前迅速）……
酒喜屋
平田町　電話一七一番

完全燃燒のため煙筒掃除の要なき
日本一の……
フクロク・ストーブ



御申越次第カタログ持參御伺ひ致します。
發賣元
久　釜屋商店　平町五丁目　電話九番
ツ　阿部石炭商店　平驛前　電話三七番

輪界の王者
富士自轉車
覇王號。宣傳號。
指定販賣所
フタバ商會
平。新川町。橋際

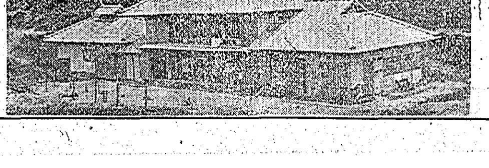
◎日本石油株式會社特約店
ライジングサン石油株式會社重油特約店
關彰商店平支店
電話六一番
本店　水戸線下館驛前（電話五五番）
支店所在地
茨城縣土浦町田宿（電話六五三 八二四）
常磐線關本驛前（電話平潟五四）
常磐線四倉驛前（電話四八）
◇海上給油及油槽所
久慈濱、大津、平潟
營業種目
石油、揮發油、輕油、重油、モビール油、機械油、マシン油、種油類、胡麻油、植物油、コールタール、カーバイト、石炭、コークス、ストーブ

夜間診療
胃腸　性病
內科
胃腸病科
花柳病科
性病科
皮膚科
專門
胃腸性病科　松村醫院
（平町南町電一〇七番）

病者の福音！
新發見冷鑛泉　明礬綠礬湯
赤井驛より二十丁　靈峰登攀にも極便利
試第二七四五號　試驗報告（寫）
定量分析
右試驗ノ爲メ當所ニ差出シタル水ハ少量ノ赤褐色沈澱アリ收歛酸味ヲ有シ微ニ硫化水素臭アリ酸性反應ヲ徵ス比重攝氏十五度ニ於て壹、〇〇四五ナリ、本水壹『キログラム』中ノ固形物總量ハ四、四九二九グラムニシテ之ガ定量分析ヲ施行シタルニ本水ハ其ノ集成ニ於テ壹キログラム中次ノ成分ヲ含有セル溶液ニ概略相當スルモノト認ム

クロールカリウム	〇、〇三六九
硫酸カリウム	〇、〇〇四
硫酸ナトリウム	〇、四九一四
硫酸亞酸化鐵	〇、七二二七
硫酸アルミニウム	〇、七四六七
硫酸カルチウム	一、三六七
硫酸マグネシウム	〇、三九六
遊離硫酸	〇、〇六九九
メル珪酸	〇、〇四〇四
硫化水素	痕跡

◎右試驗ノ結果ニ據レバ本泉ハ酸性明礬綠礬泉ニ屬セルモノニシテ醫治効用左ノ如シ
浴用、下腿潰瘍、手足多汗症、慢性泌尿器及生殖器病、慢性リウマチス、皮膚病、痛風、腺病質恢復期、官能性神經痛（ヒステリー）及神經衰弱）輕度ノ脊髓病、中樞及末梢性痲痺（經久性半身不隨小兒痲ヒ）外傷障性諸障害
昭和六年十一月二日　福島縣衛生試驗所
地方技師　中田貞次郎　印
衛生技師　高橋猛　印



其他入浴の結果に依れば頭痛、胃腸病痔疾、眼病ゼンソク、疲虫、不眠、皷腸、疝氣手足のヒヘ、ワキガの人、口中のアレ蝕齒ニモ効果アリマス
◎本鑛泉は澁味、酸味、甘味あります
福島縣石城郡赤井村字大倉二五番
赤井鑛泉湯屋

難波醫院
內科
小兒科
醫學博士　難波睦
平町新川端櫻堤
電五〇二
（入院隨時…）
看護婦募集

濱三郡の猛者を網羅して
スポーツ豪華版を展開
次日曜の第一回選手權大會

入山坑務所体育部主催、本社後援、磐城古河兩鑛贊同第一回濱三郡陸上選手權大會は來る十二日午前九時より入山炭鑛グラウンドに於て開催するが此の報一度傳はるや各地優秀選手の申込み殺到して何人によつての記錄が獲得されるか豫斷し難く當日の盛況もうかゞはれる。出場選手の顏觸れを示せば短距離に於て神宮競技扁島青年代表草野（小名濱敎員）を筆頭に橋本（中村敎員）石田（平敎員）宍戶（夏井敎員）中井川、加藤（磐炭）金成（磐中）の接戰これに對する西田（入山）の對戰は全く海山何れともつかず其日のコンディションの如何によるだらう。中距離界に於ては神宮競技與羽豫選の優勝者太田（中村敎員）寒河江、小貫（磐炭）泉（古河）に對する入山の浦田の對戰は當日の見物である跳躍は川又（磐炭）鈴木（磐崎敎員）佐藤（泉敎員）の古武者に對し入山西田、佐藤の決戰と云ひ投擲に於て西牧（內郷敎員）佐藤（泉敎員）川又（磐炭）及び相馬、中村からの猛者連の申し込に對し入山靑野の孤守奮鬪の形全く當日はスポーツの豪華版と云ふべきである

平税務署快勝
昨日對相馬の卓球戰

平對相馬兩税務署ピンポン大會は昨三日の明治節をトして行つたが戰績左の如く十四對六のスコアで平軍優勝した

（一回戰）五回ゲーム
（平）　（相馬）
目黑3—0鈴木
岡部0—3草內
佐藤（武）3—0金崎
三浦3—2金野
佐藤3—0三浦
金刺3—0粒來
三品2—3武內
賀澤3—1鈴木
（一人拔き）三回ゲーム
近藤0—2武內
關根0—2鈴木
渡邊0—2三浦
佐藤2—0金崎
佐藤（武）2—0粒來
金刺0—2今野
目黑2—0草間
賀澤2—0鈴木
（優退組）
佐藤3—0竹內
佐藤（武）3—1鈴木
目黑3—0三浦
賀澤3—2今野

ド球撤回か
濱三郡小學校
何れも氣乘薄

濱三郡小學兒童ドッヂボール大會は來る十九日平第一校グラウンドに於て開催されるので第一校では過般郡內各小學校に對し參加勸誘狀を發送したが未だ申込は一校もなく若し十五日の締切り日まで二、三校に過ぎない時は取止める模樣であると

一週紅白對抗とし十チーム組織

。。。。磐陽野球延期。　磐陽野球大會入山對磐炭の決勝戰は昨三日行ふ筈であつたが來る十一日午後一時から磐中グラウンドに開催する事に延期した

小名青訓で
輕機銃購入
演習參加計七挺

小名濱靑訓では此程經費百餘圓を投じ輕機一挺を購入したので藤田分會長は今四日午後指導試射に出席したがこれで來る廿二、三の兩日催される郡聯合靑訓演習には輕機總計七挺の參加を見るわけである

北白銀分團優勝
昨日の青年驛傳競走成績

平町青年團主催分團對抗驛傳競走は昨三日午後一時から若松醫院前でスタートを切り

大町—公園下—白銀町—鎌田町—月見町

を經て警察署前で十六區（北白銀方部）が十八分三六秒五分四でテープを切り優勝旗を授與されたがメンバーは

川又明、野口一、五十嵐正一、鈴木友光、猪狩廣太の五君で順位左の如し

2紺屋町　3城山　4才槌小路　5田町　6新川町　7長橋町　8二十八區

第一遠足運動

平第二校では來る六日午前八時から左の如く全校兒童の遠足運動を行ふ

一年新川流域及公園、二年好間村上野原、三年[illegible]井專稱寺、四年夏井大國魂神社、五年白水阿彌陀堂、高一好間村水道水源地、高二大浦村小學校

國有林無事
營林署電話奏効

別項—大火に際し平營林署では水石山に設置された見張り所からの電話により署員五名が直に現場に急行、防火に努めたので幸ひ國有林の災厄を免れた。

第一体育デー施設

平第一校では明治節を中心とした体育デーに際し左記施設をなす

公レコード作製—八日四年以下九日五年以上、運動能力測定—大日より十八日迄（驛傳競走）十一日午前九時二年以上町內

磐女弓道會

磐女弓道部では來る十一日午後一時より職員、生徒合同の弓道大會を催すがメンバー左の如し

職員A中川、鈴木、永島
新妻B松浦、大內、志村
佐藤、生徒A平井、國府田、江尻、松本、松田、若松、同B松本（勇）、草野、箱崎、橫內、白井、鈴木

軟式野球　組合せ決定
磐中、平商、第一球場で
明五日の大接戰

平軟式野球協會主催マルトモ運動具店後援第三回平町軟式野球大會は愈々明五日午前八時から磐中、平商、第一の三球場で催されるので昨夜マルトモに於てキャプテン會を開いた結果組合せ左の如く決定した

審判—（磐中）佐藤、荻野
石坂（光）（平商）熊、田中、金成（久）（第一）石坂、杉浦、小井戶
土木—鐵道（第一）
役場—三丁目（平商）
營林署—青年學校
遞友—明星
發電所—古鍛冶（磐中）

尙決勝は同午後三時より磐中グラウンドに於て行ふと

。。。。城山弓友大會　來る十二日午前九時より同町聚樂園に於て催される

。。。。松井少佐講演　來る十二日平第一校に開催される東部聯合敎育會總會の講師は左の如く決定した

我國の國防問題—陸軍省新聞班員陸軍步兵少佐松井貞二

復興には約十年
炎上した赤井嶽藥師
損害數十萬圓と註さる

昨三日午前十時半頃名刹閼伽井嶽藥師に於て此程竣功した本堂脇札賣場附近で僧侶渡邊榮照（三五）が鉋屑や落葉を燒却中折柄の烈風に煽られた火の粉が高さ四間餘尺の本堂屋根に燃え移り場所柄水利の不便と烈風に祟られ見る見る延燒し、桁行き十間棟間十七間の本堂をはじめ附屬建物十一棟を甜めつくし午後三時半鎭火した、伽藍其他建物は明治十二年二十五萬圓を投じて建立したもので損害數十萬圓と註せられ住職旭純榮師は今四日急遽歸山堂宇再建その他對策を講じつつあるが從來の大堂宇建設には今後約十年の日月を要するであらうと

展げられた邪戀の繪卷

爛れたセメント職工
藝妓と心中損ね
四倉署が引致取調べ中

四倉セメント職工本間勝利（三二）は同町柏家事小湊宗次郎氏方抱え藝妓小光事同町本町生れ山野邊ハナ（二八）と深い馴染を重ねて居たが妻女との間に二人の子供がありれて夫妻になれぬ處から二十日程前駆け落ちして諸所をさまよひ歩き此程漂然と歸つたが一日午前零時頃同町仲町大漁亭に登樓心中を企て女の頸へ麻繩を捲きつけ絞殺せんとした處女が嫌氣さして逃げ出した爲果さなかつた事其筋の探知する處となり目下留置取調べ中で殺人未遂として起訴されるかどうか成り行きを刮目されてゐる

菊誇る
磐女の昨今

磐女校園藝部では今春來菊懸崖五十鉢を志村敎諭指導の下に栽培して居たが昨今美事に開花し馥郁たる香りを放つて居る

病夫と六兒を捨て
若い燕と駈落ち
呆れた元代書人の妻

平町胡摩澤居住元代書人佐川鶴松氏妻とめ（三八）は中風の爲永い間病臥中なる夫との間に十六歲を頭に六人の子女がある身なるに拘らず數ケ月前からの同居人竹田定雄（二八）と去月二十一日元小學校長たりし夫の恩給證書（三百七十二圓）を持つて家出したので此程夫から平署へ捜査願ひを出したが竹田[illegible]舊日勞黨系の闘士で其筋の黑表に上つてゐる人物であり平署で男女を呼び出し嚴重その不心得を諭した處その夜家出したものであると

機關車審査
平白河兩驛で競爭

東鐵主催平、白河兩機關庫の機關車相互審査會は今月末行はれるがこれは相互に機關車の故障個所を發見して無缺點を競ふものである

强制和議の成立で
更生に輝くホシ
昨日から祝賀と協議會

多年維持經營上の苦境を嘗めた星製藥會社も其後星社長並に社員從業員地方支部長チェーンの協力により過般強制和議が成立したので昨三日より三日間全國支部長チェーン祝賀と對策協議の大會を開催したが濱通りに於ける出席者は左記六氏であると

（平）駒木根忠三、同忠敬
吉田芳枝（浪江）小川爲八郎
郡豐太郎（小名濱）[illegible]堂藥局、

起訴數增加
平區の統計內容

平區に於ける今年度去月末現在の刑事犯罪起訴件數は六十四件で昨年同期の五十件に比し十四件を增し、尙略式命令は百八十一件で之れ亦昨年同期の百五十件に比し三十一件の增加で此分で行けば年末には昨年の約二倍になるであらうと

探勝の雅客に
賑ふ幽境川前
昨日の人出千餘名

秋色を探る雅客にとつて待ちわびた昨三日の休日は江田信號所に最後の花を咲かしむべく平、湯本の兩驛が大童となつて團体募集をなし地元の川前保勝會では景勝の地磐越東線江田信號所附近に無料休憩所や賣店を設けて吸收に努めた結果人出千餘名と註せられ湯本驛からの八時三十分發には炭鑛地帶だけあつて四百十五名平驛からは百六名其他局三十名及會社員の團体など大バスで乘り込んだ豪勢さであつた

終業時間を制限し
能率增進を圖る
大浦の農繁季新對策

大浦村では昨今の農繁期に際し各家では晚く迄屋外勞働に從事し却て翌日の能率を減殺する場合があるので午後五時全村一齊に終業し充分の休養をとり繼續的の能率增進を圖る事に此程の區長會議で決定した

日用品物價

平町役場調査にかゝる去月末現在の日用品物價左の如し

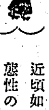
白米一等一キロ一七錢五厘、二等十七錢、三等十六錢、五厘、白麥一〇錢、平麥十四錢、味噌（並）一貫目五十錢、醬油（同）一升四十錢、淸酒（同）一升一圓、木炭（楢丸）二十四錢、楢割一貫二十一錢、同（雜丸）二十二錢、砂糖白百匁十四錢、赤十二錢、黑

同豚（上）四十錢、（並）三十錢、牛（上）四十錢、同（並）二十五錢

十七區分團
役員改選

平町十七區（仲間町方部）青年分團では昨三日午後六時より久保木亭に於て總會を開き左の役員を改選した

分團長—蛭田千代松、副—眞弓萬助、大山庄松、庶務—石川博、中根亥之秋、會計—加倉井一雄、岩本重次郎



艷界黑白

◇人樣の亭主や細君迄盜む橫着者のある世の中だから別段不思議がる事もあるまい、と云つてしまへば其迄だが近頃如何にも物騷な戀態性の曲者が平町に出現した◇官能の町は平町新田町の武藏で乾して置いた鯉次、小櫻と半玉のちん子、雛菊の分迄合計四枚の腰卷を何者かに根こそぎ盜まれてしまつた◇すると翌くろ晚また今度は近所の素人家で盗まれたと云ふ騷ぎ。何處のどいつが其れをながめてエヘラエヘラして居るやら近頃徹底したエロ泥棒とある◇林家から新妓お披露目、幸子（十七）と云ふ

入山行事

自一日至八日—菊花大品評會。每日午前九時より午後八時まで於自治會館

第一公休日—（五日）在郷軍人演習午前八時より湯本磐崎間

第二公休日—（十二日）1常磐炭鑛聯合庭球大會、午前八時より於磐炭コート　2濱三郡陸上競技選手權大會、午前九時より於入山グラウンド　3從業員秋季弓道大會、午前九時より入山弓道場　4秋季將棋大會、午前九時より東倶樂部　5秋季撞球大會、午後六時より於職員倶樂部

第三公休日—（十九日）1從業員庭球大會、午前九時より於臺ノ山コート　2寶生流謠曲大會、午前十時より於職員倶樂部　3磐陽野球大會決勝、午後一時より於入山グラウンド

第四公休日—（二十六日）自治會總會、午前九時より於自治會館

。。。。四倉校修學旅行　四倉尋常高等小學校尋常六年生は明五日東京方面に同高等科二年生は會津若松に、それぞれ修學旅行すると

自轉車專門賊

平町大工町無職遠藤軍治（二八）は一昨二日午前十時頃四倉小學校前某家から自轉車一輛を竊取し賣却の目的で內郷村宮地內を徘徊中其筋に捕へられ取調べの結果去月三十一日小名濱町古港松永秀吉方から內郷村古物商小野喜次に十五圓で賣つた外七件の自轉車專門泥を自白した

イナゴ代で修學旅行
青年學校生徒等
近く霞ケ浦飛行場へ

平青年學校では自給自足を圖る目的で去月廿六日より一昨日迄全校兒童[illegible]各組に分け近隣農村に於ていなご取りをなしたが一石七斗獲これを一升十錢の割りで賣却約十六圓の收入を見たのでこれを一部補塡として來る十日生徒二十五名が土浦に修學旅行をし霞ケ浦其他を見學すると

作並温泉から

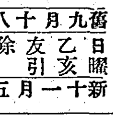
本日作並は雪。燃ゑんばかりの紅葉に降りかかる白雪、誠に奇觀に候

明治節當日　山田勇生

滿洲行決定

平機關庫員の滿鐵行志願者は既報の如く機關手を始め相當多數に上つたが此程助手小野圓山氏は決定外技術手四名が內定した

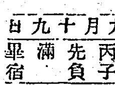
。。。。磐女購人品陳列。　磐女校では既報の如くバザー純益金を以て校內備品を注文したが取そろつた後一堂に陳列、生徒等に觀覽せしむると



舊九月十八日
日曜　乙亥　友引　除　昴宿
新十一月五日

諸判定應需
東京市本郷區湯島四丁目五番地
高島易斷總本部　神[illegible]館

▲一白の人　氣運は平調なれど新計畫を樹つれば害あり▲二黑の人　面白からざる傾向を有す定業に勵まるべし▲三碧の人　進で損せず勇躍すべき日開店企業新築等吉▲四綠の人　輕々しく望みを起して大損失を招かんとす▲五黄の人　諸事識者の指導に依りて進むが安全なる日▲六白の人　言ふ所大にして實績擧らず後日の悔を遺す▲七赤の人　運勢極めて不良なる日我意を通さぬが安全▲八白の人　勇氣に逸りて引込の附かぬ事あり失敗の本▲九紫の人　奮起すれば名利共に擧る病厄怪我注意肝要



舊九月十九日
月曜　丙子　先負　滿　畢宿
新十一月六日

▲一白の人　諸事有望に解決すべしと雖金談は見合す事▲二黑の人　萬事消極的に取計らひて災害を未然に防げ▲三碧の人　起上らんとして能はず本分を固守して安全▲四綠の人　一切の悲觀味を捨て愉快に事に當れば宜し▲五黄の人　盲目のつえを失ひて途方に暮るゝが如き凶日▲六白の人　物事に動搖多く不良化せんとする日病注意▲七赤の人　輕擧して事に當れば手重となるに至るべし▲八白の人　思はざる邊より運命の攪亂を呈し災に罹る▲九紫の人　勞せずして功有る日但し新計畫は見合すべし

外科全般
內科
小兒科
醫學博士　渡部義夫
女醫　渡部きい
平町田町大通り（電話二七七）
渡部外科
（入院應需）

赤井嶽藥師。二ッ箭山。桐ケ岡山ノ神の御參詣。夏井川溪谷（東北の耶馬溪）の雪景。もみぢ。岩つゝじ。深綠、四季折々の遠足。遊覽絶好の御土產！……
……品質保險風味絶佳……
磐城土產　靈峰やうかん　金十錢　金二十錢
小川郷驛前
發賣元　平屋賣店
平地方各商店にてお賣りして居り升

氣管、食道科、耳鼻、咽喉科、專門
平町南町
（元眞木辯護士跡）
增田耳鼻咽喉科醫院
電話　四八二番
（入院隨意）

專門　一般內科
內科ハ何デモ診療致シマス
呼吸器病バカリデハアリマセン
平町南町六五（電話一八一番）
醫學士　川井重之
女醫　川井安子
川井內科診療所